

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-066050

(43)Date of publication of application : 06.03.1998

(51)Int.Cl. H04N 7/16
G06F 17/60
H04M 11/08
H04M 15/28
H04N 7/173

(21)Application number : 08-241133 (71)Applicant : ABE HIRONAO

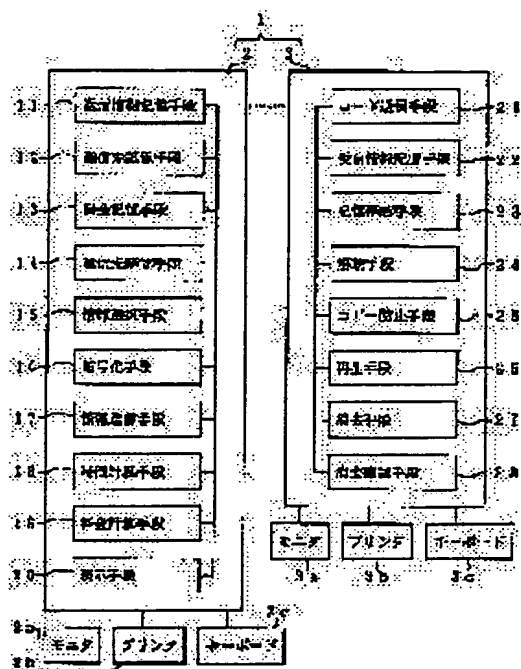
(22)Date of filing : 22.08.1996 (72)Inventor : ABE HIRONAO

(54) RENTAL INFORMATION SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a rental information system in which information is simply rented by using a communication channel.

SOLUTION: The system is provided with a rental information transmitter 2 and a rental information receiver 3. The rental information transmitter 2 has an information transmission means 17, a time calculation means 18 and a display means 20. The rental information receiver 3 has a reception information storage means 22, a reproduction means 26 and a delete confirmation means 28. The time calculation means 18 receives a storage delete confirmation signal to calculate a rental information from the transmission of rental information by the information transmission means 17 till the reception of the storage delete confirmation signal. The delete confirmation means 28 sends a storage delete confirmation signal to the rental information transmitter 2 when the rental information stored in the reception information storage means 22 is deleted.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 04.11.1997

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 08.08.2000

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-66050

(43) 公開日 平成10年(1998) 3月6日

(51) Int.Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 7/16			H 0 4 N 7/16	C
G 0 6 F 17/60			H 0 4 M 11/08	
H 0 4 M 11/08			15/28	B
15/28			H 0 4 N 7/173	
H 0 4 N 7/173			G 0 6 F 15/21	Z
審査請求 有 請求項の数 4 F D (全 8 頁)				

(21) 出願番号 特願平8-241133

(22) 出願日 平成8年(1996) 8月22日

(71) 出願人 396017338

阿部 浩直

宮城県栗原郡築館町伊豆一丁目一ノ八

(72) 発明者 阿部 浩直

宮城県栗原郡築館町伊豆一丁目一ノ八

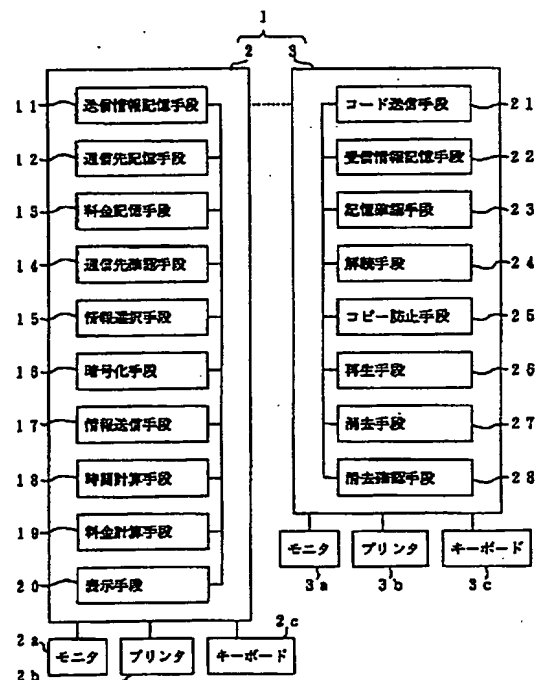
(74) 代理人 弁理士 須田 篤

(54) 【発明の名称】 情報レンタルシステム

(57) 【要約】

【課題】 通信回線を用いて簡単に情報をレンタルできる情報レンタルシステムを提供する。

【解決手段】 レンタル情報送信装置2とレンタル情報受信装置3とを有する。レンタル情報送信装置は、情報送信手段と時間計算手段と表示手段とを有する。レンタル情報受信装置は、受信情報記憶手段と再生手段と消去確認手段とを有する。時間計算手段は、記憶消去確認信号を受信して、情報送信手段によるレンタル情報の送信から記憶消去確認信号の受信までのレンタル時間を計算する。消去確認手段は、受信情報記憶手段に記憶されるレンタル情報を消去したとき、記憶消去確認信号をレンタル情報送信装置に送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 レンタル情報送信装置とレンタル情報受信装置とを有し、

前記レンタル情報送信装置は、

レンタル情報を送信する情報送信手段と、

前記レンタル情報受信装置から送信される記憶消去確認信号を受信して、前記情報送信手段によるレンタル情報の送信から前記記憶消去確認信号の受信までのレンタル時間を計算する時間計算手段と、

前記時間計算手段が求めたレンタル時間を表示する時間表示手段とを有し、

前記レンタル情報受信装置は、

前記情報送信手段から送信されるレンタル情報を記憶する受信情報記憶手段と、

前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報を再生する再生手段と、

前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報を消去する消去手段と、

前記消去手段により前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報を消去したとき、記憶消去確認信号を前記レンタル情報送信装置に送信する消去確認手段とを有することを、

特徴とする情報レンタルシステム。

【請求項2】 レンタル情報送信装置とレンタル情報受信装置とを有し、

前記レンタル情報送信装置は、

レンタル情報を記憶する送信情報記憶手段と、

通信先識別コードを記憶する通信先記憶手段と、

レンタル料金を通信先識別コードと対応させて記憶する料金記憶手段と、

通信先の前記レンタル情報受信装置から送信される通信先識別コードを前記通信先記憶手段に記憶される通信先識別コードと対応させて通信先を確認する通信先確認手段と、

通信先の前記レンタル情報受信装置から送信される情報識別コードに対応するレンタル情報を前記情報記憶手段に記憶されるレンタル情報から選択する情報選択手段と、

前記通信先確認手段が確認した通信先の前記レンタル情報受信装置に、前記情報選択手段が選択したレンタル情報を送信する情報送信手段と、

通信先の前記レンタル情報受信装置から送信される記憶完了確認信号および記憶消去確認信号を受信して、記憶完了確認信号の受信時刻から記憶消去確認信号の受信時刻までのレンタル時間を計算する時間計算手段と、

前記時間計算手段が計算したレンタル時間に応じた料金を、前記通信先確認手段が確認した通信先識別コードと対応して前記料金記憶手段に記憶されるレンタル料金に加算し、レンタル料金を書き換える料金計算手段と、

前記料金記憶手段に記憶されるレンタル料金を通信先識

別コードと対応させて表示する料金表示手段とを有し、前記レンタル情報受信装置は、

前記レンタル情報送信装置に通信先識別コードおよび情報識別コードを送信するためのコード送信手段と、

前記情報送信手段から送信されるレンタル情報を記憶する受信情報記憶手段と、

レンタル情報が前記受信情報記憶手段に記憶されたとき、記憶完了確認信号を前記レンタル情報送信装置に送信する記憶確認手段と、

10 前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報を再生する再生手段と、

前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報を消去する消去手段と、

前記消去手段により前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報を消去したとき、記憶消去確認信号を前記レンタル情報送信装置に送信する消去確認手段とを有することを、

特徴とする情報レンタルシステム。

【請求項3】 前記レンタル情報受信装置は、前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報についてコピー防止処理を行うコピー防止手段を有し、

20 前記再生手段は、前記コピー防止手段によりコピー防止処理がなされたレンタル情報を再生することを、特徴とする請求項2記載の情報レンタルシステム。

【請求項4】 前記レンタル情報送信装置は、前記情報選択手段が選択したレンタル情報を暗号化する暗号化手段を有し、

前記情報送信手段は、前記通信先確認手段が確認した通信先のレンタル情報受信装置に、前記暗号化手段が暗号化したレンタル情報を送信し、

30 前記レンタル情報受信装置は、前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報の暗号を解読する解読手段を有し、

前記再生手段は、前記解読手段により暗号を解読されたレンタル情報を再生することを、特徴とする請求項2または3記載の情報レンタルシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、例えば、映画やコンサートフィルムのような情報をレンタルするための情報レンタルシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】 一般に、映画やコンサートフィルムなどを鑑賞するには、ビデオレンタル店に出掛けて借りたいビデオを探して借り、期限がきたらビデオを返却することが行われている。また、近年、インターネットなどの情報通信網の発達により、映像を通信回線で送信し、販売することが行われている。

【0003】

50 【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来の

ビデオレンタルでは、店まで出掛けたり、ビデオを探したり、返却したりするのに手間がかかるという問題点があった。また、通信回線で映像等の情報を送信する場合、情報を送信した後はその情報の処分は受信者に任せられ、情報の返却を確認することができないため、通信回線をそのままレンタルには使用できないという問題点があった。

【0004】本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、通信回線を用いて簡単に情報をレンタルすることができる情報レンタルシステムを提供することを目的としている。

【0005】

・【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1の本発明に係る情報レンタルシステムは、レンタル情報送信装置とレンタル情報受信装置とを有し；前記レンタル情報送信装置は、レンタル情報を送信する情報送信手段と；前記レンタル情報受信装置から送信される記憶消去確認信号を受信して、前記情報送信手段によるレンタル情報の送信から前記記憶消去確認信号の受信までのレンタル時間を計算する時間計算手段と；前記時間計算手段が求めたレンタル時間を表示する時間表示手段とを有し；前記レンタル情報受信装置は；前記情報送信手段から送信されるレンタル情報を記憶する受信情報記憶手段と；前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報を再生する再生手段と；前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報を消去する消去手段と；前記消去手段により前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報を消去したとき、記憶消去確認信号を前記レンタル情報送信装置に送信する消去確認手段とを有することを、特徴とする。

【0006】請求項1の本発明に係る情報レンタルシステムを利用する場合、レンタル店がレンタル情報送信装置を設置し、レンタル店と契約した客がレンタル情報受信装置を設置する。客は、レンタル情報を受信して利用した後、消去確認手段によりレンタル情報を消去する。レンタル店では、時間計算手段が求めたレンタル情報の送信から記憶消去確認信号の受信までのレンタル時間を時間表示手段に表示させる。レンタル店は、レンタル時間に基づき、客にレンタル料金を請求することができる。

【0007】請求項2の本発明に係る情報レンタルシステムは、以下に示すレンタル情報送信装置とレンタル情報受信装置とを有することを特徴とする。前記レンタル情報送信装置は、レンタル情報を記憶する送信情報記憶手段と；通信先識別コードを記憶する通信先記憶手段と；レンタル料金を通信先識別コードと対応させて記憶する料金記憶手段と；通信先のレンタル情報受信装置から送信される通信先識別コードを前記通信先記憶手段に記憶される通信先識別コードと対応させて通信先を確認する通信先確認手段と；通信先のレンタル情報受信装置

から送信される情報識別コードに対応するレンタル情報を前記情報記憶手段に記憶されるレンタル情報から選択する情報選択手段と；前記通信先確認手段が確認した通信先のレンタル情報受信装置に、前記情報選択手段が選択したレンタル情報を送信する情報送信手段と；通信先のレンタル情報受信装置から送信される記憶完了確認信号および記憶消去確認信号を受信して、記憶完了確認信号の受信時刻から記憶消去確認信号の受信時刻までのレンタル時間を計算する時間計算手段と；前記時間計算手段が計算したレンタル時間に応じた料金を、前記通信先確認手段が確認した通信先識別コードと対応して前記料金記憶手段に記憶されるレンタル料金に加算し、レンタル料金を書き換える料金計算手段とを有する。

【0008】前記レンタル情報受信装置は、前記レンタル情報送信装置に通信先識別コードおよび情報識別コードを送信するためのコード送信手段と；前記情報送信手段から送信されるレンタル情報を記憶する受信情報記憶手段と；レンタル情報が前記受信情報記憶手段に記憶されたとき、記憶完了確認信号を前記レンタル情報送信装置に送信する記憶確認手段と；前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報を再生する再生手段と；前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報を消去する消去手段と；前記消去手段により前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報を消去したとき、記憶消去確認信号を前記レンタル情報送信装置に送信する消去確認手段とを有する。

【0009】請求項2の本発明に係る情報レンタルシステムを利用する場合、レンタル店がレンタル情報送信装置を設置し、レンタル店と契約した客がレンタル情報受信装置を設置する。レンタル情報受信装置は、複数設置されることが好ましい。レンタル情報送信装置とレンタル情報受信装置は、電話回線などの通信回線を通じて接続することが好ましい。レンタル情報送信装置とレンタル情報受信装置とは、インターネットのような情報通信網を介して接続されてもよい。レンタル情報送信装置およびレンタル情報受信装置は、各手段を機能的に有するパーソナルコンピュータで構成することが好ましい。

【0010】客がレンタル店から情報をレンタルするとき、コード送信手段によりレンタル情報送信装置に自分の通信先識別コードおよびレンタルしたい情報の情報識別コードを送信する。通信先識別コードは、客ごとに付与される。情報識別コードは、レンタルする個々の情報ごとに付与される。レンタル情報送信装置は、通信先確認手段で、通信先識別コードを通信先記憶手段に記憶される通信先識別コードと対応させて通信先を確認し、情報選択手段で、通信先のレンタル情報受信装置から送信される情報識別コードに対応するレンタル情報を情報記憶手段に記憶されるレンタル情報から選択する。選択したレンタル情報を情報送信手段により、通信先確認手段が確認した通信先のレンタル情報受信装置に送信する。

【0011】レンタル情報受信装置は、受信情報記憶手段により、情報送信手段から送信されるレンタル情報を記憶する。記憶確認手段は、レンタル情報が受信情報記憶手段に記憶されたとき、記憶完了確認信号をレンタル情報送信装置に送信する。客は、再生手段により、受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報を再生し、利用する。レンタル情報を利用後、消去手段により、受信情報記憶手段に記憶されるレンタル情報を消去する。レンタル情報を消去したとき、消去確認手段は、記憶消去確認信号をレンタル情報送信装置に送信する。

【0012】レンタル情報送信装置は、時間計算手段により、通信先のレンタル情報受信装置から送信される記憶完了確認信号および記憶消去確認信号を受信して、記憶完了確認信号の受信時刻から記憶消去確認信号の受信時刻までのレンタル時間を計算する。計算したレンタル時間に応じた料金を、料金計算手段により、通信先確認手段が確認した通信先識別コードと対応して料金記憶手段に記憶されるレンタル料金に加算し、レンタル料金を書き換える。レンタル料金は、料金表示手段に通信先識別コードと対応して表示される。レンタル料金は、客の口座から引き落とすようにしても、客に送金してもらうようにしてもよい。こうして、情報のレンタルが可能になる。なお、情報レンタルシステムの機能は、レンタル情報送信装置およびレンタル情報受信装置ごとに、パーソナルコンピュータで動作するプログラムとしてフロッピーディスクなどの記憶媒体に記憶されていてもよい。

【0013】請求項3の本発明に係る情報レンタルシステムは、請求項2の情報レンタルシステムにおいて、前記レンタル情報受信装置は、前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報についてコピー防止処理を行うコピー防止手段を有し、前記再生手段は、前記コピー防止手段によりコピー防止処理がなされたレンタル情報を再生することを、特徴とする。

【0014】請求項3の本発明に係る情報レンタルシステムでは、再生手段がコピー防止手段によりコピー防止処理がなされたレンタル情報を再生する。このため、レンタル情報が受信情報記憶手段以外の記憶手段に記憶されるのを防止することができる。

【0015】請求項4の本発明に係る情報レンタルシステムは、請求項2または3の情報レンタルシステムにおいて、前記レンタル情報送信装置は、前記情報選択手段が選択したレンタル情報を暗号化する暗号化手段を有し、前記情報送信手段は、前記通信先確認手段が確認した通信先のレンタル情報受信装置に、前記暗号化手段が暗号化したレンタル情報を送信し、前記レンタル情報受信装置は、前記受信情報記憶手段に記憶されたレンタル情報の暗号を解読する解読手段を有し、前記再生手段は、前記解読手段により暗号を解読されたレンタル情報を再生することを、特徴とする。

【0016】請求項4の本発明に係る情報レンタルシ

テムでは、レンタル情報送信装置は情報送信手段により暗号化したレンタル情報を送信する。レンタル情報受信装置は、解読手段により暗号を解読して、再生手段でレンタル情報を再生する。このため、客以外の者がレンタル情報を利用するのを徹底して防ぐことができる。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づき本発明の実施の形態について説明する。図1および図2は、本発明の実施の形態を示している。図1に示すように、情報レンタルシステム1は、レンタル情報送信装置2とレンタル情報受信装置3とを有する。レンタル情報送信装置2およびレンタル情報受信装置3は、それぞれモニタ2a、3aとプリンタ2b、3bとキーボード2c、3cとCPUとメモリとを備えたパーソナルコンピュータから成り、電話回線に接続されている。

【0018】レンタル情報送信装置2は、送信情報記憶手段11と、通信先記憶手段12と、料金記憶手段13と、通信先確認手段14と、情報選択手段15と、暗号化手段16と、情報送信手段17と、時間計算手段18と、料金計算手段19と、表示手段20とを機能的に有する。

【0019】送信情報記憶手段11は、レンタル情報を記憶する。レンタル情報は、例えば、映画やコンサートフィルムのような映像や音の情報である。通信先記憶手段12は、通信先識別コードを記憶する。通信先識別コードは、客の識別コードであって、パスワードから成る。料金記憶手段13は、レンタル料金を通信先識別コードと対応させて記憶する。通信先確認手段14は、通信先のレンタル情報受信装置3から送信される通信先識別コードを通信先記憶手段12に記憶される通信先識別コードと対応させて通信先を確認する。情報選択手段15は、通信先のレンタル情報受信装置3から送信される情報識別コードに対応するレンタル情報を情報記憶手段に記憶されるレンタル情報から選択する。情報識別コードは、レンタル情報の識別コードであって、映画、コンサートフィルムなど個々の情報ごとに付与される。暗号化手段16は、情報選択手段15が選択したレンタル情報を暗号化する。暗号化は、例えば、映像信号をスクランブルして行われるが、他の暗号処理であってもよい。

【0020】情報送信手段17は、通信先確認手段14が確認した通信先のレンタル情報受信装置3に、暗号化手段16が暗号化したレンタル情報を送信する。情報送信手段17の送信速度は、速い方が好ましい。時間計算手段18は、通信先のレンタル情報受信装置3から送信される記憶完了確認信号および記憶消去確認信号を受信して、記憶完了確認信号の受信時刻から記憶消去確認信号の受信時刻までのレンタル時間を計算する。料金計算手段19は、時間計算手段18が計算したレンタル時間に応じた料金を、通信先確認手段14が確認した通信先識別コードと対応して料金記憶手段13に記憶されるレ

7

レンタル料金に加算し、レンタル料金を書き換える。料金計算手段19は、レンタル料金を書き換えたとき、そのレンタル料金の表示信号をレンタル情報受信装置3に送信する。表示手段20は、キーボード2cの操作により、モニタ2aまたはプリンタ2bに時間計算手段18が求めたレンタル時間を表示するとともに、料金記憶手段13に記憶されるレンタル料金を通信先識別コードと対応させて表示する。

【0021】レンタル情報受信装置3は、コード送信手段21と、受信情報記憶手段22と、記憶確認手段23と、解読手段24と、コピー防止手段25と、再生手段26と、消去手段27と、消去確認手段28とを有する。

【0022】コード送信手段21は、キーボード3cの操作によりレンタル情報送信装置2に通信先識別コードおよび情報識別コードを送信する。受信情報記憶手段22は、情報送信手段17から送信されるレンタル情報を記憶する。記憶確認手段23は、レンタル情報が受信情報記憶手段22に記憶されたとき、記憶完了確認信号をレンタル情報送信装置2に送信する。解読手段24は、受信情報記憶手段22に記憶されたレンタル情報の暗号を解読する。コピー防止手段25は、解読されたレンタル情報についてコピー防止処理を行う。コピー防止手段25は、コピー防止機能をプログラムしたフロッピーディスクから成ってもよい。再生手段26は、解読手段24により暗号を解読され、コピー防止手段25によりコピー防止処理がなされたレンタル情報をキーボード3cの操作により再生し、モニタ3aまたはプリンタ3bに表示する。再生手段26は、モニタ3aに映像の停止、早送り、巻き戻しなどの処理を行うこともできる。消去手段27は、キーボード3cの操作により受信情報記憶手段22に記憶されたレンタル情報を消去する。消去確認手段28は、消去手段27により受信情報記憶手段22に記憶されたレンタル情報を消去したとき、記憶消去確認信号をレンタル情報送信装置2に送信する。レンタル情報受信装置3のモニタ3aは、レンタル情報送信装置2の料金計算手段19が書き換えたレンタル料金の表示信号を受信し、表示する。

【0023】次に図2を参照しながら作用について説明する。情報レンタルシステム1を利用する場合、レンタル店がレンタル情報送信装置2を設置し、レンタル店と契約した複数の客がそれぞれレンタル情報受信装置3を設置する。

【0024】客がレンタル店から情報をレンタルするとき、コード送信手段21によりレンタル情報送信装置2に自分の通信先識別コードおよびレンタルしたい情報の情報識別コードを送信する(ステップ41)。通信先識別コードは、客がレンタル店と契約する際に付与される。情報識別コードは、レンタル店が貸し出す個々のレンタル情報ごとに付与されており、予め客に一覧表にし

8

て配布される。情報識別コードは、インターネットのホームページに掲載してもよい。レンタル情報送信装置2は、通信先確認手段14で、通信先識別コードを通信先記憶手段12に記憶される通信先識別コードと対応させて通信先を確認し(ステップ42)、情報選択手段15で、通信先のレンタル情報受信装置3から送信される情報識別コードに対応するレンタル情報を情報記憶手段に記憶されるレンタル情報から選択する(ステップ43)。選択したレンタル情報は、暗号化手段16により暗号化される(ステップ44)。これにより、客以外の者がレンタル情報を利用するのを徹底して防ぐことができる。暗号化したレンタル情報は、情報送信手段17により、通信先確認手段14が確認した通信先のレンタル情報受信装置3に電話回線を通じて送信される(ステップ45)。

【0025】レンタル情報受信装置3は、受信情報記憶手段22により、情報送信手段17から送信されるレンタル情報を記憶する(ステップ46)。記憶確認手段23は、レンタル情報が受信情報記憶手段22に記憶されたとき、電話回線を通じて記憶完了確認信号をレンタル情報送信装置2に送信する(ステップ47)。客は、再生手段26によりモニタ3aに、受信情報記憶手段22に記憶されたレンタル情報を再生し、利用する(ステップ50)。このとき、受信情報記憶手段22に記憶されたレンタル情報は、解読手段24により暗号を解読され(ステップ48)、正常の状態で再生することができる。また、再生手段26は、コピー防止手段25によりコピー防止処理(ステップ49)がなされたレンタル情報を再生する。このため、レンタル情報が受信情報記憶手段22以外の記憶手段に記憶されるのを防止することができる。コピー防止手段25によりコピー防止を確実に行うことにより、レンタル情報の著作権が保護され、情報レンタルシステム1の普及が図られる。

【0026】レンタル情報を利用後、キーボード3cを操作し、消去手段27により、受信情報記憶手段22に記憶されるレンタル情報を消去する(ステップ51)。レンタル情報を消去したとき、消去確認手段28は、電話回線を通じて記憶消去確認信号をレンタル情報送信装置2に送信する(ステップ52)。

【0027】レンタル店のレンタル情報送信装置2は、時間計算手段18により、通信先のレンタル情報受信装置3から送信される記憶完了確認信号および記憶消去確認信号を受信して、記憶完了確認信号の受信時刻から記憶消去確認信号の受信時刻までのレンタル時間を計算する(ステップ53)。計算したレンタル時間に応じた料金を、料金計算手段19により、通信先確認手段14が確認した通信先識別コードと対応して料金記憶手段13に記憶されるレンタル料金に加算し、レンタル料金を書き換える(ステップ54)。料金計算手段19は、書き換えたレンタル料金の表示信号をレンタル情報受信装置

9

3に送信する(ステップ55)。レンタル店で、時間計算手段18が求めたレンタル時間および料金記憶手段13に記憶されるレンタル料金は、表示手段20に、通信先識別コードと対応して表示される(ステップ56)。また、レンタル情報受信装置3のモニタ3aは、レンタル情報送信装置2の料金計算手段19が書き換えたレンタル料金の表示信号を受信して表示し、客はレンタル料金を知ることができる(ステップ57)。レンタル料金は、客の口座から引き落とすようにしても、客に送金してもらうようにしてもよい。こうして、通信回線を用いて簡単に情報のレンタルが可能になる。

【0028】

【発明の効果】本発明に係る情報レンタルシステムでは、レンタル情報の送信から通信先がレンタル情報を消去するまでのレンタル時間を求めることができるので、通信回線を用いて簡単に情報をレンタルすることができる。

【0029】特に、請求項2の本発明に係る情報レンタルシステムでは、通信先を確認して希望のレンタル情報を通信先に送信し、通信先がレンタル情報を消去するまでのレンタル時間をもとに料金を計算するので、通信回線を用いて簡単に情報をレンタルすることができる。

【0030】特に、請求項3の本発明に係る情報レンタルシステムでは、コピー防止手段を有するので、レンタル情報が受信情報記憶手段以外の記憶手段に記憶されるのを防止することができる。

【0031】特に、請求項4の本発明に係る情報レンタルシステムでは、レンタル情報は暗号化され、解読手段により暗号を解読して再生されるので、客以外の者がレ

10

ンタル情報を利用するのを徹底して防ぐことができる。

【図面の簡単な説明】

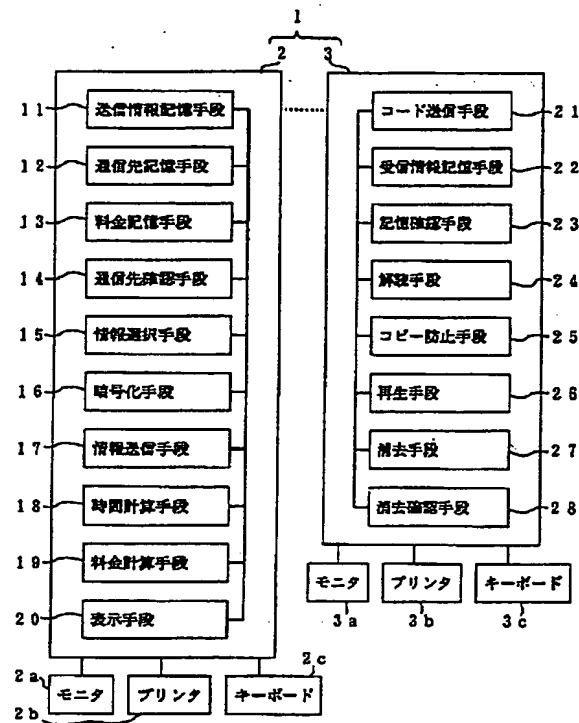
【図1】本発明の実施の形態の情報レンタルシステムのブロック図である。

【図2】本発明の実施の形態の情報レンタルシステムの処理を示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 情報レンタルシステム
- 2 レンタル情報送信装置
- 3 レンタル情報受信装置
- 11 送信情報記憶手段
- 12 通信先記憶手段
- 13 料金記憶手段
- 14 通信先確認手段
- 15 情報選択手段
- 16 暗号化手段
- 17 情報送信手段
- 18 時間計算手段
- 19 料金計算手段
- 20 表示手段
- 21 コード送信手段
- 22 受信情報記憶手段
- 23 記憶確認手段
- 24 解読手段
- 25 コピー防止手段
- 26 再生手段
- 27 消去手段
- 28 消去確認手段

【図1】



【図2】

